

恵方巻き 無駄なくそう

勝山・村岡小 記事で食品ロス学ぶ



恵方巻きの廃棄を減らす事業者の取り組みを新聞記事で学ぶ児童＝1日、勝山市村岡小

みんなで読もう

NIE(教育に新聞を)の環境で、勝山市村岡小は1日、食品ロスの問題を新聞記事から学ぶ授業を行った。4年生30人が、恵方巻きが大量に廃棄されている問題を取り上げた本紙の記事を読み、自分た



ちでできる対策などを考えた。4年生は食品ロスをテーマに総合的な学習を進

めており、今回は恵方巻きの廃棄を減らす県内スーパーマーケットの取り組みを記事から学んだ。予約を中心とした販売に切り替えたところ廃棄量が大きく減ったことや、お年寄り向けに半分のサイズを販売したことなどを紹介する記事を、真剣な表情で読み込んでいた。

授業を終え、村上永真君(10)は「予約できることを初めて知ったので、これからは家でも予約して買ってもらおうと思った」と話した。

9月中旬、学んだ成果を一人一人が手作りの壁新聞にまとめる。市民に食品ロスへの注意を呼び掛ける活動も検討している。

勝山市では公立の全小中学校が、ユネスコスキルの持続発展教育(ESD)の関連事業と位置付けてNIEに取り組んでいる。(桂知之)